

みどりのゆび

諏訪中央病院グリーンボランティア通信 No.113号 2019年12月4日発行

秋のバザー開催

「こうしてね、グリーンと対話しながら巻いていくの…」指導をいただきながら、バザー一週間前、庭の片隅で始まった、リース作りは自然の恵みをいただいていたの幸せな時間でした。



さて、11月20日、午前10時前から沢山のお客様でにぎわったバザー会場。リースの他にジャム、ラベンダーサッシュェ、手作り小物、アナベル、ハス、ハーブティーなど盛りだくさん。隣ではアロマオイルのハンドマッサージで癒される人々。熱気で一杯の院内から、庭に出ると食事班がお昼ごはんを用意してくれていました。



マイバッグ持参のお願いに協力してくださったり、様々な物品を提供してくださったりした方々に感謝すると共に、メンバーひとりひとりの底力の凄さを思いました。売り上げは193,200円、その一部を台風19号の県内の被災者の方々への義援金として送ることになりました。



誰かのために、私たちのために、メンバーの心がひとつになれる、秋のバザーはやはり、なくてはならないものに思えました。[高橋(京)]



お知らせ

*学習会

時間：10時～12時 場所：講堂（病院東棟2階） 飲み物は各自持参

1月22日（水）2019年を振り返って（10時～）

鎌田先生のお話（11時半～12時半）

2月19日（水）在宅・地域ケアセンターの高木先生のお話（10時～）

新年度に向けて（11時～）

3月18日（水）萩尾エリ子先生のお話（10時～）

新年度活動計画（11時～）

**イルミネーション

今年も「陽なたぼっこ」周辺に飾り付けられました。

点灯期間&時間：11月20日～1月14日（毎日17時～21時）

木の地図を作りました

今年も一年が終わります。寒さや暑さ、長雨と天候が不順な年だったと感じます。草取りの作業の合間、ふと上を眺めると、モミジ、ボダイジュ、えーっと、あれはなんの木？花が咲いているこの木の名前は？？このようなこと、ありませんか？



こんな想いに、篠田さんと吉田さんが作業の合間を縫って、ハーブガーデンにある木の地図を作りました。花や草だけでなく、私たちが手入れしているお庭の木を知って、木のある風景を眺めてみてください。なお、作成していただいた地図を本号と一緒に配布します。

◎以下は地図作成に際して、助言をいただいた篠田さんの所感です。

広いハーブガーデンでは春から晩秋まで様々な草木が目を楽しませてくれる。鮮やかな花を咲かせる草花は目につきやすいが、木々はそれほどでもない。庭の桜には野生種がある。これも桜？と思うような房状に花をつけるウワミズザクラもある。小さいながらもサクランボができる。これが散ると掃除仕事になる。今年は花木も増えた。ナツツバキ、アズマシャクナゲ、ヒュウガミズキなど。花木の良さは花、実、紅葉が楽しめることだ。一方、成木となってクサギ、ネムノキ、カジノキなどは実生が増えて手間取るようにもなった。ガーデンの作業は人出が足りないほどである。[篠田]

コラム No.10 ボランティアの喜び

私がグリーンボランティアに入会したきっかけは知人に活動について聞き知ったのが始まりです。活動を始めて、鎌田實先生とピースボート船旅についてお話したことや先生やスタッフ達とのランチタイムの会話も楽しい思い出です。

これとは別に、妻の友人がいる新潟県佐渡市で毎年春秋1か月間「おけさ柿」のボランティア作業をしています。友人が脳血栓で倒れて以来、既に6年の月日が流れました。昨年は雨の中での作業等、苦労がありましたが、車満載のおけさ柿をお土産に頂き、バザーに出品したり、干し柿を作って縁ある人に送ったり、人様から感謝される喜びを感じられたのは「無上の喜び」です。友人夫妻は様々な農作業を2人でされてましたが、奥様が病気で倒れて、私たちの作業が役立っていることは嬉しい限りです。



健康であれば、人生楽しいことが数多くあります。夫婦仲良く(?)ボランティア活動できることは幸福な人生と痛感する昨今です。病院の庭にあるラベンダー近くの立て看板に次のことが書いてありました。

私たちグリーンボランティアが育てた花をどうぞ切って持ち帰ってください。

皆様に喜んで頂けるのが私たち、グリーンボランティアの喜びです。

人生は旅路、人生は人との出逢い。[萩野]